東成瀬 図書館だより

2021. 9月号 No.74　発行　東成瀬公民館図書室

〒019-0801
秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野8-1
TEL 0182-38-8711　FAX 0182-38-8712
E-MAIL　narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp

☆令和３年10月の特集＆新着案内☆

＜一般書＞

☆「　おうち読書で旅気分♪　」

あの空の下で	吉田　修一
山女日記	湊　かなえ
旅猫リポート	有川　浩
やっぱり食べに行こう。	原田　マハ
旅屋おかえり	原田　マハ
ブランケット・ブルームの星型乗車券	吉田　篤弘
腸活オートミールレシピ	工藤　あき　・　おなつ
追憶の鳥	阿部　智里
向田邦子ベスト・エッセイ	向田邦子・向田和子
不機嫌のトリセツ	黒川　伊保子

＜児童書＞

☆「　空と天気の絵本　」

やまださんちのてんきよほう	長谷川　義史
くもとそらのえほん	五十嵐　美和子
おひさまとかくれんぼ	たちもと　みちこ
そよかぜさん	たちもと　みちこ
たいふう　どうするの？	せべ　まさゆき
ゆき、まだかなあ	マーシャ・ダイアン・アーノルド
きたきつねとはるのいのち	手島　圭三郎
オサム	谷川　俊太郎
ぱくぱく　はんぶん	渡辺　鉄太
うそ	谷川　俊太郎

◇今月のオススメの一冊◇

『成田空港の隣に世界一の街を造る男』
柳瀬　公孝／著



評価資産額１兆円の街が2024年、成田空港の隣に出現する。人口減少下の日本経済の起爆剤となる、今後10年では日本最大級のプロジェクト「共生日本ゲートウェイ成田」。大手都銀、国交省、金融庁、そして東京地検特捜部がスクラムを組んで圧力をかけてきても、それに屈しなかった著者の「リアル半沢直樹」としての前半生も描く。

『てんきはどうしてかわるの？』
ケイティ・デインズ／文

あめは、どうやってふるの？たいようってどれくらいあついの？かぜはどこからふいてくるの？めくりをひらいて、こたえをみつけてみよう！



＊この他にも多数取り寄せております。　電話で予約できますのでお尋ねください。

☆図書室利用案内☆

10月の休館日

３日　（第１日曜日）　17日（第３日曜日）
31日（第５日曜日）

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★

開館時間	午前９時３０分～午後５時３０分
休館日	・第１日曜日　・第３日曜日 ・第５日曜日　・祝祭日 ・年末年始
図書の貸出	１０冊まで
視聴覚資料	３点まで（ＤＶＤ・ＣＤ・ビデオ）
貸出期間	３週間



お知らせ

『自由研究・工作作品展』
スライドショーでご覧ください

東成瀬小学校児童の夏休みの力作を下記の手順の操作により、スマホ等で見ることができます。

STEP 1 「COCOAR2」アプリのインストール

「App Store」もしくは「Google Play」で「COCOAR2」と検索し、インストールしてください。

または、左側のQRコードを読み込み、「COCOAR2」アプリをインストールしてください。

☆　広報９月号14ページに掲載の右記の写真にスマホをかざすと、スライドショーを見ることができます。



※ 雑誌のリサイクルを実施します

期間　10月1日（金）～11月6日（土）

時間　9：30　～　17：30

場所　なるせ児童館（休館日を除く）

是非、ご活用ください。

—第５回—

わたしのとっておきの一冊

地域の常連さん　本間　忠さん　　からの　オススメ

「　人間の土地へ　」

小松　由佳　/　著　集英社インターナショナル



秋田市出身の著者、小松由佳さんが2006年、エベレストに次ぐ世界第二の高峰K2（標高8611m）に日本人女性として初めて登頂した際は、秋田県で大きな話題となり、県民に勇気と誇りをもたらしました。（秋田県民栄誉賞、他受賞）

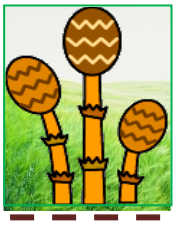
小松さんはK2の生死の分岐点に立つという壮絶な体験から、ある大きな心の変化を感じ、山を下りて旅に出ます。

遊牧や山岳の民と生活を共にしながら写真を撮り、中東やイスラム圏シリアのある一家と合流します。そこで出会った青年（のちに国際結婚）の話へと展開。

報道で見るシリアは怖くて危険な土地のイメージですが、2011年からの内戦以前はのどかで平和な日常も。いまの情勢は依然として戦闘と土地を追われる多数の難民で出口が見えない状況です。その混迷する厳しい現実に家族と向き合います。

それにしても、小松さんのどんな状況にも絶望せず諦めない行動力には驚きますが、語る言葉は常に自然体で的確な目線で理解できます。普段知らない世界に触れることができるおすすめ本です。

ぜひ一度読んでみてください



読みかたりグループ
「つくしんぼ」コーナー

おはなし会
10月　2日（土）
午前10:30～11:00

会員のつぶやき！

会員　大崎　哲子

先日、久しぶりに自分の為に絵本が見たくなり、家の本棚にある絵本をゆったり見ました。それを見てふと、パン屋さんをしている友人の顔が浮かびました。ジョン・バーニンガムの「はる　なつ　あき　ふゆ」です。10年程前にもらってきたものの、あまり好みではなく、ずっとしまったままの本。友人に持っていくと大好きな作家さんとのことだったのでプレゼントすると、とても喜んでくれました。「当たり前だけど、好みって人それぞれ。本も大事にしてくれる人に巡り合えてよかった」と感じた出来事。友人ももちろん、絵本も喜んでいるように見えました。







会員　佐藤　ミヤ子

昔読んだ本が、ふと心に浮かんで妙に気になることがあるものです。題名もストーリーも思い出せない絵本なのですが。小学校１年生の頃に図書室で読んだアップルパイをめぐる物語。王様と家来が出てきたような…。どなたか心あたりはありませんか？